

令和4年度第2回みえスタディ・チェックの概要

1 目的

- ・児童生徒が自らの学習内容の定着状況を確認し、目標を持って主体的に学習に取り組む意欲を育む。
- ・学習指導要領の趣旨や内容に基づき、児童生徒の学習内容の定着状況を把握し、授業改善及び個に応じた指導の充実等、各学校が組織的かつ継続的なPDCAサイクルを確立し、児童生徒の学ぶ意欲や学力の向上のための取組を促進する。

2 実施日、対象学年、実施教科及び実施校数

実施日	令和4年度冬季休業終了後から令和5年2月20日（月）まで
対象学年	小学校第5学年，中学校第2学年
実施教科	国語，算数・数学
実施校数	小学校第5学年 344校 中学校第2学年 150校 ※対象児童生徒が在籍する全ての小中学校等で実施

3 各教科の平均正答率，平均無解答率及び改善状況等

(1) 平均正答率，平均無解答率

教科	小学校第5学年		中学校第2学年	
	平均正答率	平均無解答率	平均正答率	平均無解答率
国語	59.3%	3.12%	56.8%	3.31%
算数・数学	51.7%	2.56%	53.2%	7.01%

(2) 改善状況等

	教科	問題番号	問題概要	平均正答率		改善状況
				今回	過去	
小学校	国語	4	故事成語の使い方として適切なものを選択する（五十歩百歩）	59.3%	45.4%	+13.9
		7一	【話し合いの様子の一部】における谷原さんや中村さんの発言の理由として適切なものを選択する	44.4%	68.2%	-23.8
		7三	「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで、 <input type="text"/> でどのように話すかを書く	33.6%	44.2%	-10.6
	算数	1	100-20×4の計算をする	72.6%	76.8%	-4.2
		12(3)	A小学校とB小学校の図書委員が表したグラフを見比べて読みとった事柄として正しくない事柄について、正しくないわけを書く	20.7%	26.1%	-5.4

	教科	問題番号	問題概要	平均正答率		改善状況
				今回	過去	
中学校	国語	1五	行書の基礎的な書き方について、適切なものを選択する	55.0%	47.6%	+7.4
		3二	農林水産省のウェブページにある資料の一部から必要な情報を引用し、意見文の下書きにスマート農業の効果を書き加える	39.3%	46.5%	-7.2
		5三	「天地無用」という言葉を誤った意味で解釈してしまう人がいる理由を書く	20.8%	30.1%	-9.3
	数学	3	一元一次方程式 $2x=x+3$ の解について、正しい記述を選ぶ	40.8%	47.0%	-6.2
		10	比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める	58.8%	37.3%	+21.5
		16(1)	気温差が 9°C 以上 12°C 未満の階級の度数を書く	74.3%	84.3%	-10.0

(3) 成果と課題

① 成果

《国語》

小学校

- ・ 故事成語の意味と使い方の理解を問う問題で改善が図られています。

中学校

- ・ 行書の基礎的な書き方の理解を問う問題で改善が図られています。

《数学》

中学校

- ・ 与えられた比例のグラフから、 x の変域に対応する y の変域を求める問題で改善が図られています。

② 課題

《国語》

小学校

- ・ 言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉えることに課題が見られます。
- ・ 互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめることに課題が見られます。

中学校

- ・ 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことに課題が見られます。
- ・ 目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことに課題が見られます。

《算数・数学》

小学校

- ・ 減法と乗法の混合した整数の計算をすることに課題が見られます。
- ・ グラフから貸出冊数を読み取り、それを根拠に、示された事柄が正しくない理由を、言葉や数を用いて記述することに課題が見られます。

中学校

- ・ 一元一次方程式の解の意味を理解することに課題が見られます。
- ・ ヒストグラムからある階級の度数を読み取ることに課題が見られます。